

2025.9月

銀の汗 Again

A面

穎明館中学高等学校



穎明館学校グラウンド脇



八王子市館町の広大な敷地にある
穎明館中学高等学校
スポーツ床HD工法 2,000㎡をUNマシンにて施工。

熱中症対策2名体制でA棟:B棟、都合8回施工
部活動中の生徒さんたちが元気よく
「こんにちはー」と声を掛けてくれるので
何故だか照れながら「コンニチワー」と返事をするOP
恥ずかしいから施工をあまり見ないでウフ
と思いながら、銀の汗を流しました。
樹々と風があり、快適な施工現場でしたが
生徒さんたちも熱中症にはご注意くださいと願い
現場を後にしました。

産廃熱中症対策遮熱ヘルメット



産廃三役そろい踏み

「デカイあたまが蒸れまーす」と悲鳴が上がったのは
8月頭の事、産廃ドライバーが直射日光を浴び
3時間7㎡のゴミを手積した後、叫びました。
そこでさっそく
熱中症対策として、「暑さ、ムレ」を抑え
表面に遮熱塗料を塗布し、エアライトを採用した
タニザワ製作所、究極の通気性能を実現した
ヘルメット「飛翔」
化研産廃チームが飛翔するように、3名のドライバーは
この夏、最新型ヘルメットで現場対応致します。

九州応援UN施工IN鞍手庁舎



東京有明フェリー乗り場19時発



翌々朝7時北九州新門司着そのまま現場へ



⇒ AM9:00着福岡県鞍手郡の鞍手庁舎1,800㎡施工



3日後帰京フェリー乗り場への道すがら、地元へ愛されている、牧のうどん店へ



九州支店配備のUN6号機は現在新木場で
オーバーホール中であり、九州の新型9号機も
調子が悪く、このたび東京より応援で、九州の施工へ
フェリーに飛び乗りました。

当初、7月末予定施工が天候の関係でずれ込み
8月の予定日、現場に向かう途中で急遽土日施工希望
へと、再変更となり、応援スケジュールが組めなくなり
九州OPと緊密な連絡を取り合い、関東での1現場が
ずれた為、タイミングよくフェリーが取れました。

お盆シーズンで2回目のキャンセル時は乗船不可でしたので、ズレた事が少し幸いとなりました。
地元で50年以上愛されている、牧のうどんは、やわらかいうどんが特徴で「うまか」と言いながら、帰京フェリーに乗船しました。
初めてUNマシンで施工するお客様も何とか不慣れな段取りの中、「UNうっ・うまか」で無事施工を終えることが出来ました。

九州6号機フルメンテ中



車両に潜り込み分解へ



メインポンプに残材料こびり付き



ホース内も動脈硬化状態



シンナーに1日付け置き



手作業で汚れ落とし



バーナーで焼、汚れ落とし

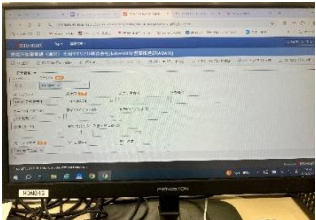
2017年3月初年度登録した九州支店配属UNマシン6号機は、8年間1台で九州全土を駆け巡り、関東に比べてはメンテナンス体制が不利な中、この度オーバーホールする為、新木場第二倉庫にやってきました。予想通りに各所傷んでおり、特に心臓部に近い各所が、やはり経年で細かいメンテナンスが行き届いていなく、詰まり気味になっており、全OPと関係各所に見ていただきオーバーホールを開始しています。機械ものは本当に細かなメンテナンスとマシンの稼働が命となります。

日本の車メーカーは世界に誇る品質ですが、やはり車検制度などのメンテナンス制度の充実が車の維持管理と安全走行に役立っていると実感致します。

再システム変更



AS400



BIZ

数年前より取り組んでいたシステム変更に関し、7月より新システム移行を行いました。様々不備が発生し8月より、再び従来のAS400システムに戻しました。

お客様におかれましては色々ご迷惑をお掛けし誠に申し訳ありませんでした。

8月からは指が覚えていて処理はサクサク進んでいます。

援農ボランティア



梨園



選別機

援農ボランティアに参加し、梨園でお手伝いをしています。太陽の光、実った果実、踏みしめる畑の土の感触、実業をしている園主には失礼ですが、健康になる感覚があります。日本人のDNAは農業か？と感じながら銀の汗を流しました。

UNマシン.COMサイトが立ちあがりました
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com
銀の汗バックナンバーも掲載

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)
UNマシンにて検索

【sweat of silver】

「水が大事です、お天気には勝てません、だから農業は博打です！」今、援農ボランティアとして近所の梨園のお手伝いをしています。今までは食べるの専門でしたが、摘果や受粉、そして収穫の過程を学んでいます。幸水・豊水・あきづき・新高など季節ごとに美味しい梨が育ちますが新高に関しては近年気温の高さから収穫が経済効率性から難しくなり、その園主は数年前から前期と後期で違う品種を考え、6年が経ち今年やっと試した梨が実り収穫の運びとなるそうです、その間も肥料や水など他の品種と同じように育て、どうなるかわからない収穫に備えるとの事、また今年は6月の降雨が少なく急に気温が30度を超えた為、生育が弱く当初小ぶりの梨が多くなるとの事で、その園は昔井戸を掘り給水システムを作ったそうですが、ない園は今年は小さな梨になるそうです、そして言いました。「お天気仕事。だから農業は博打なんです」水に関しては一番重要で、必要な時期に必要な水分が無いと、後で水を与えてもダメだそうで、地球規模で考えると、今日本が水が少なくてもどこかの国で洪水などトータルでは帳尻があっているとの事ですが、やはり正しい季節に合ったリズムが大切とのことです。

きっと人間も同じで、小・中・高で学ぶべき時に学ぶべき、童話や本や映画や芸術・科学・スポーツ等々、その時期に感じるべき物を観たり聴いたり学んだりしないと、年をとってから同じものを体験しても、きっと成長にはつながりにくいでしょう。

「お天気には勝てません」と園主が言った時、UNマシンも雨だと施工できないので全くその通り、ウンウンとうなずいていました。日本は天災が多い国です、だからこそ先人は工夫と知恵で乗り切ってきました。そのDNAが日本中に溢れています。知恵を出してこの暑い夏を乗り切り、2025年共々前進していきましょう。